

人類学演習Ⅲ 談話会

日時：7月10日(金) 16:30~18:00

場所：理学部2号館 402号室

講演者 水嶋崇一郎さん

東京大学総合研究博物館（諏訪研）

タイトル

「縄文人と現代日本人における主要四肢骨の成長パターン：胎児から成人にわたる骨幹長と断面形状の比較解析」

要旨

成人期縄文人の四肢骨骨幹部は現代日本人より断面が太く扁平であり、このことは狩猟採集行動にともなう力学負荷に骨幹部が機能適応した結果として捉えられてきた（例えば Kimura and Takahashi, 1982）。

しかし近年、骨幹部の形状は力学負荷との単純な対応関係のみでは説明しきれないことが様々な提言されている（Lovejoy et al., 2003; Pearson and Lieberman, 2004）。

本研究では、胎児期から成長末期、成人期にわたる縄文人と現代日本人の主要四肢骨を用いて、骨幹中央部の外径やCT撮影に基づいた各種断面特性値を比較検討し、頑丈性や扁平性の発現・発達のタイミングと様式を知ることにより、これらの形質の成因について改めて考察した。

次回

7/17 那須先生

担当 井原研：小森 敏